

六月二十一日、本館に於て、一即上陸し、交通遮断された。重要機関等は、  
一、原重正、丹保松金が捕られた。  
一、山崎らの引揚船  
Q二七号、那山、一五二一号  
六月二十二日入港したのであるが、コトウのためと陸延期し六月二十八日金員検査病院に入院七月  
二十五日退院、暫く看護所に收容した。  
終戦以來三十八年度以北からの脱出行は狭くしては開くことが出来なかつた。

水七号 引揚者調査状況

引揚調査 引揚者各獲獲所に收容せしむると、直に各人の記入申告に依り引揚調査票の採集を成す  
等の状況、被服の着用違反、携行荷物の検査、持帰金や種類及金額に關し調査を實施し之を  
行して部隊を、引揚団体責任者を通じて全船に況等を飛取し突撃し即座したる感念を遂行すに  
先づこの期した。  
引揚者の上陸より新里出立迄の間、引揚者に対する、精神的、物質的保護に注力す  
る。各部隊所属員を拘束し絶えず、聲を帯びて居る事は勿論であるが特に引揚者  
は、捕獲前にあつては上陸毎に押隊、團長責任者を通じて又捕獲後等々の方法に依り、當時  
の状況に對する所見、命令を徹底監視に對する所見、食事に關する所見、其の他諸事項  
等に依り、捕獲後、捕獲後等々の如く之を久し振りに認む。故國、オオ一隊隊士侯選ならんことを  
期す。

六月二十二日、八ラオオ二十二方面、二一八ヶ部隊の、  
引揚者荷物の状況と前書にありては、優、良  
下の半數捕らんとす。長官、長官とより評



トラック	ニ、ニ、二、九	一、七、九								
トラック	"	三、三、四								
トラック	"	一、六、一、九								
トラック	"	三、五、九								
トラック	"	七、七、二								
トラック	"	一、〇、九								
トラック	"	一、四								
トラック	"	二、二								
トラック	"	一、六、三、三								
トラック	"	二、二、五								
トラック	"	七、六、五								
トラック	"	一、一、〇								

トラック	一、一、六	一、七、九	〇							
トラック	"	三、七、五								
トラック	"	一、三、九、五								
トラック	"	二、三、四								
トラック	"	三、九、六								
トラック	"	一、八、二								
トラック	"	八								
トラック	"	七、四								
トラック	"	二、一、三								
トラック	"	一、五、六								
トラック	"	一、四、五								
トラック	"	一、一、三								



印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那
三二五五	二二八	二二二	四六	八六八	四〇九	一三五三	一九五	四九六	一六二	七六〇				

印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那	印度支那
三二四三	三三	三四	三一四	五三四	二〇八	五五七	四八	二一八	二四、六	七一				







第一中队	第二中队	第三中队	第四中队	第五中队	第六中队	第七中队	第八中队	第九中队	第十中队	第十一中队	第十二中队	第十三中队	第十四中队	第十五中队	第十六中队	第十七中队	第十八中队	第十九中队	第二十中队		
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	
海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
八	一五〇	一二二	三七七	一九	二七九	三三三	四七五	五〇九	七二	四九八	一〇二										
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇											

第十一中队	第十二中队	第十三中队	第十四中队	第十五中队	第十六中队	第十七中队	第十八中队	第十九中队	第二十中队	第二十一中队	第二十二中队	第二十三中队	第二十四中队	第二十五中队	第二十六中队	第二十七中队	第二十八中队	第二十九中队	第三十中队		
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇





满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人
シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル	シカホル
八五	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六
二六	三一九	三四〇	一四八	七五	四八	一〇五	三一〇	九七六	一〇一三	八六六	八四六		
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人	满洲製成邦人
シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ	シヤワ
八〇	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二
五	五七五	三八八	二二五	九三	八二	九四	六三	六九	二六	一一			
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊	第六隊	第七隊	第八隊	第九隊	第十隊
シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル
一三三	二二七	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
一三八	一六六	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第一隊	第二隊	第三隊	第四隊
シムカポル	シムカポル	シムカポル	シムカポル
三三三	二二七	二二五	二二五
一三八	一六六	一四三	一四三
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

15  
 59  
 16  
 50  
 218  
 28  
 80  
 100  
 1438

優  
 貝  
 音  
 積  
 長  
 不  
 長  
 上  
 中  
 下

八六七五六

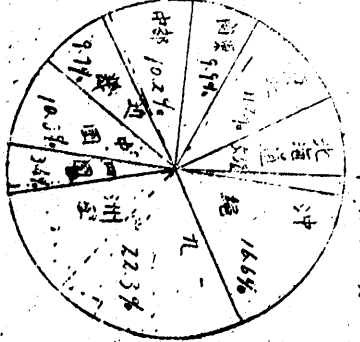
(四) 一般民間調査  
 本資料は、贖居後、所に入水左一般民間人、三三六四四名(内、八四〇名)の引揚地  
 域別平均滞留日数、本籍地別人員、送込故者人員、死亡人員に關する統計調査日次に示す如  
 である。  
 (一) 引揚地域別平均滞留日数

引揚地域	実人員	平均滞留日数 (但し、先づける)	長期滞留の主な理由
1 南方諸島 (オバオシヤ)	六、五〇七	二〇・二	人員の大部分が沖縄人であり、平均四割の内地に誘附先 しく、地底に系属並に出滞留せざる為
2 中部太平洋諸島 (ハリスチヤ)	一〇、六七二	一三・七	沖縄県人の外、北海道、東北出身者も、内地に 送込地獄に系属並に出滞留せざる為
3 中華、南華 (広東、雲南)	四、〇八〇	一一・一	コシラ船と指定され、校役業務完了止滞留せざる為
4 米本國 (アラスカ)	三、六七七	八・四	特留金見返手續の複雑及持揚荷物量が大なり為
5 台湾	五、三六三	五・四	帰郷臨時列車臨時し得合せざる為

備考	向無添枚者のみ平均滞留日数は一ヶ月乃至一ヶ月半を示し最も長期滞留者は二月二十五日と要す
平均	二八日
朝鮮	二四一
其他	三一
南滿	八八九
北滿	三八

引揚者本籍地別人員及び百分率

順位	本籍地名	人数	百分率
1	河南出身者	7,564名	22.2%
2	伊東出身者	5,752名	17.4%
3	原北出身者	3,737名	11.2%
4	中野出身者	3,174名	9.6%
5	中野出身者	3,441名	10.4%
6	岡島出身者	3,222名	9.7%
7	北野出身者	2,622名	7.8%
8	北野出身者	1,774名	5.3%
9	岡島出身者	1,151名	3.4%
10	その他	1,478名	4.4%
合計		33,648名	100.0%



引揚者本籍地別人員 其他0.6%

引揚者本籍地別人員及び百分率  
河南出身者居多、河南の割合は22.2%と最も高く、次に伊東出身者が17.4%、原北出身者が11.2%、中野出身者が9.6%、中野出身者が10.4%、岡島出身者が9.7%、北野出身者が7.8%、北野出身者が5.3%、岡島出身者が3.4%、その他が4.4%を占める。なお、河南出身者の割合は全体の四分の一を占める。また、中野出身者の割合は全体の十分の一を占める。以上が引揚者本籍地別の調査結果である。

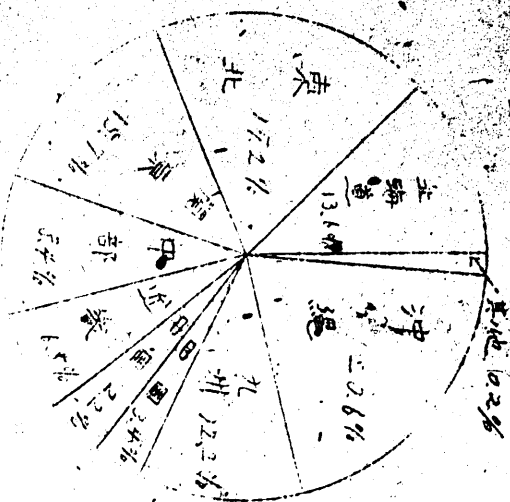


人員 (一級車人)

種別	人員	人	割合
中部太平洋	3,775,590	10,895	9.1%
南方諸島	3,000,000	1,509	19.3%
南西諸島	2,000,000	888	2.7%
米本國	本國 7,777,874	2,877	10.9%
台湾	台北基隆花蓮新竹	5,343	15.9%
中華南洋	上海漢口廣東	4,080	12.1%
北朝鮮南洋	北朝鮮長春	2,441	7.2%
其他	沖繩 原垣島	14	0.04%

種別	引揚考出身方面別									
	一位	二位	三位	四位	五位	六位	七位	八位	九位	十位
中部太平洋	沖繩 10.1%	東北 19.2%	關東 15.7%	北海道 13.1%	九州 12.2%	中部 6.4%	關東 6.5%	關東 2.6%	中國 2.2%	其他 0.2%
南方諸島	九州 33.4%	關東 20.2%	東北 11.4%	中部 6.2%	西部 7.2%	東北 6.5%	關東 2.0%	北海道 1.7%	北陸 0.4%	其他 0.2%
南西諸島	中國 26.2%	九州 20.1%	近畿 19.5%	關東 15.1%	中部 6.8%	東北 6.8%	沖繩 5.5%	其他 3.0%	關東 2.1%	北海道 1.0%
米本國	中部 82.7%	關東 17.1%	關東 15.1%	沖繩 11.9%	關東 10.5%	東北 9.8%	關東 1.5%	北海道 3.8%	沖繩 2.1%	北海道 1.0%
台湾	九州 10.1%	關東 17.1%	關東 15.1%	沖繩 11.9%	關東 10.5%	東北 9.8%	關東 1.5%	北海道 3.8%	沖繩 2.1%	北海道 1.0%
中華南洋	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%
北朝鮮南洋	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%
其他	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%	關東 15.1%

引揚産支店別人数 (一般职人)

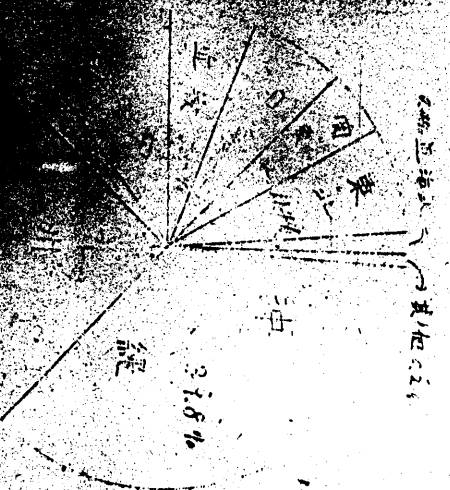


中部太平洋方面 (1,617名)

地方別	人数	割合 (%)
津	2200	20.1%
九州	1302	12.2%
四国	245	2.2%
中国	351	3.4%
近畿	189	1.8%
中部	475	4.4%
関東	1198	11.5%
北海道	1458	13.6%
其他	19	0.2%

別産支店

引揚産支店別人数 (一般职人)

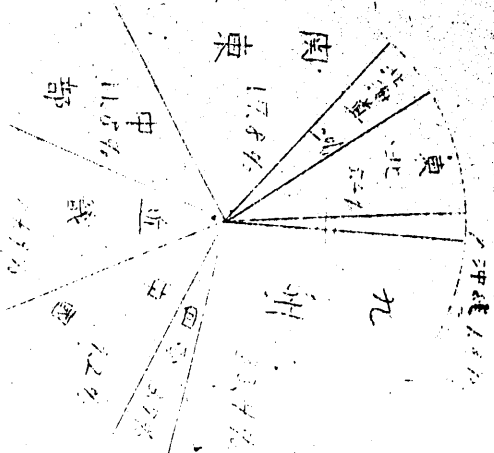


南方製造方面 (1,509名)

地方別	人数	割合 (%)
九州	1313	20.2%
四国	114	1.9%
中国	544	8.4%
近畿	423	6.5%
中部	534	6.2%
関東	262	3.2%
北海道	549	11.4%
其他	27	0.4%
其他	19	0.2%

附表 2-3

引揚本姓地引人員 (一般新入)



南苗籍島方面

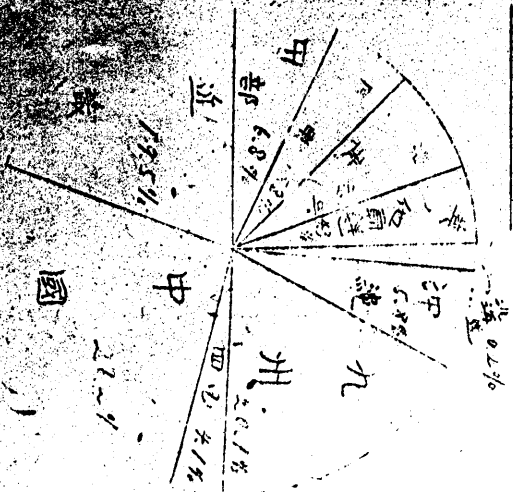
(1889)

地方別	人	百分率
沖總	18	2.4%
九州	299	33.4%
四國	32	2.9%
中國	42	2.2%
近畿	132	1.5%
中	145	1.6%
關東	159	1.8%
東北	48	0.5%
北海道	18	0.2%

別表 2-4

引揚者本居地別人員

(一般新入)



米本島方面

(2,177)

地方別	人	百分率
沖總	212	5.8%
九州	737	20.1%
四國	149	4.1%
中國	965	24.2%
近畿	718	17.5%
中	251	6.8%
關東	214	5.8%
東北	265	7.2%
北海道	11	0.2%
其他	159	4.3%